



## 元気の交換を

市民や学生、商店街、自治会の皆さんが沿道に立ち、大きな声援を送りました。マラソンコースに隣接する小学校4校(元城、東、曳馬、上島)は、ランナーを応援する横断幕を作りました。曳馬小学校では5年生14人で昼休みを利用して思い思いのコメントやイラストを横断幕に描き込み、マラソン当日は、校舎の前でランナーを応援しました。



## 歴史を走り繋ごう!

「子どもたちには、ランナーを応援するイラストや言葉を横断幕に描いてもらいました。浜松シティマラソンのキャッチフレーズ『歴史を走り繋ごう!』の文字の枠だけを私が書き、子どもたちにはその文字の中を塗ってもらうようにしました。今、子どもたちにはこの言葉の意味はよく分からないかもしれませんが。成長して意味が分かってきた時、今日のことを思い出して、何回目かのシティマラソンに、ランナーとして参加したり、ボランティアとして大会に関わったり、スポーツ活動の意義や地域のことを考えてくれることを期待しています。」(曳馬小学校 大須賀教頭)



## 老若男女、市民ボランティア 1,037人が参加

スタッフの役割は、「走路安全員」「誘導係」「荷物預かり係」「更衣室係」「参加賞引換係」など。参加ランナーの安全と安心に関わる大切な業務を任せられます。事前の講習会を経て当日に臨みました。



## 10回連続参加の ボランティアスタッフ

スタッフの中には、これまでの浜松シティマラソン全てにボランティアとして参加している人もいました。「地域スポーツ指導者\*としてさまざまな地域のスポーツボランティア活動に参加しています。普段の生活ではあまり接する機会のない若い人も交流できることや、私より高齢の人が競技に参加して頑張っている姿に元気をいただけることがボランティアの魅力。また、自身のスキルアップが楽しいです。」(荷物預かり係、Nさん(東区))



125人の中学生は、給水所、参加賞引換、荷物預かり業務で大活躍。高校生や大学生も記録係や体調管理のサポートで参加しました。写真はゴール付近で記録係を務めた浜松日体高等学校陸上部の皆さん。

\*地域スポーツ指導者：市および浜松市体育協会が開催する「地域スポーツ指導者養成講習会」の受講や、スポーツイベントへの参加を通して、2年間で60単位以上取得した者を認定。認定指導者は、地域のスポーツ活動での指導の場や、スポーツボランティア活動の場が提供される。

# 「する・観る・支える(育てる)」が創る、 市民参加のスポーツイベント。

## 第10回浜松シティマラソン・スナップショット ～市民スポーツ交流の記録～

2014(平成26)年2月23日で第10回を迎えた「浜松シティマラソン」。これを記念して、ハーフマラソンは、市役所前からスタート、鍛冶町通り、アクトシティ、静岡文化芸術大学など中心街を通る魅力あるコースにリニューアル。昨年より7部門増えて、ハーフ(21.0975km)、5km、3kmの3種目22部門。多くの市民がランナー、サポートボランティア、沿道での応援として参加し、みんなで楽しみました。

これこそ、みんなの  
スポーツなジャーン



## 笑顔の参加ランナー

今回の大会エントリーは10,464人。多くの市民に愛されるとともに、広く知られるマラソンイベントとなりました。



「第1回から毎年連続して参加しています。今回、中心街では、応援してくれた人々との距離が近く、知人の声援も聞こえ、励まされました。運営やサポートも効率的で丁寧だったので、安心して気持ちよく完走できました。」(ハーフマラソン50歳以上の部に参加の田尾さん73歳(中区))